

ハニトの〇〇な話

No.10



マイム、マイム



こんにちは。日本のこの暑い夏をみなさん、元気にお過ごしでしょうか？夏バテにならないように、どんな暑さ対策をしているのでしょうか？

みなさんはイスラエルの夏は日本の夏よりずっと暑いというイメージがあると思います。面積の半分以上が砂漠のイスラエルは確かに暑い国ですが、私にとって日本の夏の方がずっとずっと厳しくて、非常に過ごしにくいと感じます。

その原因の一つは、みなさんがご存知のとおり、湿度の高さです。イスラエルの砂漠は温度が45℃を超えることが多いですが、カラッとした暑さですので、ある程度過ごしやすいです。それに、昼頃が一番暑いので、昼寝をする習慣があります。

父は自営業で店をやっていますが、昼の1時から4時まで店を閉めて、家に帰って、昼ごはんを食べた後に昼寝をします。

学校や保育園の終わる時間も日本と比べて早いで、子どもたちも一日の最も暑い時間を家で過ごすこととなります。

エジプトとの国境にあるイスラエルの最も南の町「エイラット」では、真夏の平均気温は39.9℃ですが、湿度は17%です。エイラットに住んでいたおばさんの家へ遊びに行った時、洗濯物を干すのを手伝って、ビックリしました！干し終わったところでもうすでに乾いていました！イスラエルの夏はこれぐらい暑いということです。

ここ4・5年、日本では熱中症という言葉がよく聞かれるようになりました。ヘブライ語の辞書で引いても、そのような言葉はありません。あるのは「脱水症状」です。子どもの頃、脱水症状にならないようによく注意された覚えがあ

ります。脱水症状を防ぐために一番大事なのは水を飲むこと！と教えられています。ですから、イスラエル人の考えでは水は命です。水さえあればまず生きていけるという意味です。

私は日本に来た時から、日本人の水に対する考え方に驚いたことがたくさんあります。喉が渴いたのに「トイレへ行きたくなるから」と言って飲まなかったり、水道があるのに「生水を飲まない方が良い」と言ったり、スポーツする時に飲むと根性がないと思われるので我慢して飲まなかったりします。イスラエル人の私から見てありえないことです！喉が乾いたら飲む！喉が渴いたと言う人に水を飲ませる！と言う常識しか私には通用しません。体を守る、命を守るということより大事なことは何もありません。ちなみに、今回のタイトルはみなさんがご存知のフォークダンスのマイム、マイムですが、実はこれがヘブライ語です。意味はなんと「水」です。水不足の国で水が湧き出た時に国民が喜んで歌う歌です。面白いですよ。

こんな暑いイスラエルでも熱中症で亡くなった人がほとんどいないという事実は、水への思いのお蔭だと思っています。日本もそろそろ温暖化に備えて、水に対する考え方を変えるべきではないでしょうか？

みなさん、暑い夏を無事に乗り越えるように水分補給を軽く思わず、大切にしてください。

では、8月にゆっくり休んで、また9月号でお会いしましょう。

ハニトさんへの質問は
hanito@town.yaotsu.lg.jp までどうぞ！